

本時のねらい

・和語・漢語・外来語の由来を知り、それぞれの違いや使った時の印象を感じ取り、理解することができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・Jamboard を操作することで、楽しみながら和語・漢語・外来語の特徴の理解を深める。
・Jamboard で和語・漢語・外来語の書かれたことばカードを操作し、グループに分ける自力解決の時間を十分に確保することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Google クラスルーム ・inter CLASS Cloud ・Jamboard
・YouTube【5 年国語】和語 漢語 外来語①（学研 おうちゼミ サンプル授業動画）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○同じような意味を持っている和語、漢語、外来語の入った 3 つの文を比べ、その違いに気づく。 ・和語・漢語・外来語の文を提示する。 ・和語・漢語・外来語の動画を見る。 【写真 1】	・動画を見ることで和語、漢語、外来語の 3 つの違いに興味を持ち学習に意欲的に取り組むことができる。
展開 (35分)	○和語・漢語・外来語について知る。 ・和語と漢語の由来について教科書で確認する。 ・外来語の由来を教科書で確認する。 ・和語・漢語・外来語の使われ方の違いを捉える。 ○課題に取り組む。 ①和語・漢語・外来語のことばカードを並び替える。 【写真 2】 ②自分で、辞書や教科書、生活の中から和語・漢語・外来語をさがして、カードに書き出す。 また、どこの国の言葉かについて、辞書で調べる。	・Jamboard で和語・漢語・外来語の書かれたことばカードを容易に並べ替えられるので、試行錯誤しやすい。 ・Inter CLASS Cloud を使って、2 人の画面をスクリーンに共有し、お互いの意見が見やすく、理解しやすい。
まとめ (5分)	○ふりかえりをする。 今日の授業でわかったこと、気づいたこと、やってみたいことなどを伝え合う。 【写真 3】	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】和語・漢語・外来語の動画を見ている場面



【写真 2】Jamboard で和語・漢語・外来語の書かれたことばカードを並び替えている場面



【写真 3】ふりかえりカードを使って、今日の授業で分かったことを考えている場面

児童生徒の反応や変容

Jamboard の付箋カードをつかうことで、ゲーム感覚で楽しみながら和語・漢語・外来語を理解することができた。また、間違いもすぐに直すことができるので、楽しみながら知識の定着を図ることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

導入で 3 つの文を理解するために動画を見ることで、興味をもって学習に取り組むきっかけになった。また、文字や文を書くことや読むこと、間違うことに抵抗を感じる児童にとって ICT 機器の活用は、容易に付箋カードを並び替えたり、書き込んだりすることができ、楽しみながら和語・漢語・外来語を理解することにつながった。